



## APIC アカウントの設定

---

この章は、次の項で構成されています。

- [APIC アカウントの追加, 1 ページ](#)
- [APIC リソースの表示, 4 ページ](#)
- [ポッドへの APIC アカウントの割り当て, 13 ページ](#)
- [APIC フェールオーバーの処理, 13 ページ](#)
- [共有レイヤ 3 Outside の設定, 14 ページ](#)

## APIC アカウントの追加



---

(注) Cisco APIC アカウントは特定のポッドに関連付けられません。

---



---

(注) リソースグループに属しているアカウントに関連付けられたポッドは編集できません。リソースグループに属しているアカウントは削除できません。

---



---

(注) APIC クラスタを追加すると、そのクラスタ内のコントローラが自動的に検出されます。[要約 (Summary)] タブでコントローラの詳細を確認できます。[要約 (Summary)] タブに移動するには、[物理 (Physical)] > [ネットワーク (Network)] の順に選択して、左側のペインに表示された [マルチドメインマネージャ (Multi-Domain Managers)] リストから APIC アカウントを選択します。

---



(注) Cisco UCS Director と ACI ファブリックを統合するには、TLSv1 が ACI ファブリックで有効化されていることを確認します ([ファブリック ポリシー (Fabric Policies)] > [ポッドポリシー (Pod Policies)] > [ポリシー (Policies)] > [通信 (Communication)] )。

- ステップ 1** メニューバーで、[管理 (Administration)] > [物理アカウント (Physical Accounts)] の順に選択します。
- ステップ 2** [マルチドメイン マネージャ (Multi-Domain Managers)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 4** [アカウントの追加 (Add Account)] ダイアログボックスで、[アカウントタイプ (Account Type)] ドロップダウンリストから [APIC] を選択します。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 6** [アカウントの追加 (Add Account)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[アカウントタイプ (Account Type)] フィールド	アカウントタイプが表示されます。
[アカウント名 (Account Name)] フィールド	マルチドメイン アカウント名。
[説明 (Description)] フィールド	マルチドメインの説明。
[ポッド (Pod)] フィールド	使用可能なポッドのリスト。APIC アカウントを追加するポッドを選択します。
[サーバ IP (Server IP)] フィールド	APIC クラスタ内のいずれかの APIC コントローラの IP アドレス。  (注) Cisco UCS Director は、APIC クラスタ内の他の APIC コントローラの IP アドレスを自動的に検出します。
[クレデンシャルポリシーの使用 (Use Credential Policy)] チェック ボックス	ポリシーを使用してアカウントにクレデンシャルを割り当てる場合に、このチェックボックスをオンにします。

名前	説明
[クレデンシャル ポリシー (Credential Policy) ] ドロップダウンリスト	<p>このフィールドは、[クレデンシャル ポリシーの使用 (Use Credential Policy) ] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。クレデンシャル ポリシーを選択します。</p> <p>(注) SSH または Telnet プロトコルを使用してデバイスに接続することはできません。SSH または Telnet プロトコルが選択されたデバイス クレデンシャル ポリシー内で指定されている場合は、クレデンシャル ポリシーで定義されたプロトコルをチェックするように促されます。</p>
[ユーザ名 (Username) ] フィールド	<p>このフィールドは、[クレデンシャル ポリシーの使用 (Use Credential Policy) ] チェックボックスがオフになっている場合にのみ表示されます。APIC アカウントを管理しているユーザの名前。このアカウントは、ユーザ名を使用して APIC サーバにアクセスします。このユーザ名は、APIC サーバ内で有効な管理アカウントにする必要があります。</p> <p>(注) LDAP クレデンシャルでは、ユーザ名の形式を <code>apic:&lt;LDAP Domain Name&gt;&lt;LDAP User Name&gt;</code> にする必要があります。</p> <p>(注) ユーザが、サポートされている機能にアクセスし、レポートの表示やレポートへのアクセスなどのアクションを実行したり、Cisco UCS Director のワークフロータスクを実行したりするには、APIC サーバで必要な権限をすべて備えている必要があります。</p>
[パスワード (Password) ] フィールド	<p>このフィールドは、[クレデンシャル ポリシーの使用 (Use Credential Policy) ] チェックボックスがオフになっている場合にのみ表示されます。このパスワードがユーザ名に関連付けられます。</p>
[プロトコル (Protocol) ] ドロップダウン リスト	<p>このフィールドは、[クレデンシャル ポリシーの使用 (Use Credential Policy) ] チェックボックスがオフになっている場合にのみ表示されます。プロトコルを [https] として選択します。</p>

名前	説明
[ポート (Port) ] フィールド	このフィールドは、[クレデンシャル ポリシーの使用 (Use Credential Policy) ] チェックボックスがオフになっている場合にのみ表示されます。このポートが APIC アカウントへのアクセスに使用されません。
[連絡先 (Contact) ] フィールド	このアカウントを使用する管理者または個人の電子メールアドレス。
[ロケーション (Location) ] フィールド	アカウントと関連付けられたデバイスの場所。

**ステップ 7** [送信 (Submit) ] をクリックします。

**ステップ 8** 新しく作成したアカウントを選択します。

**ステップ 9** アカウントが機能することを確認するには、[接続のテスト (Test Connection) ] をクリックします。

Cisco UCS Director によって APIC サーバへの接続がテストされます。このテストに合格した場合は、APIC アカウントが追加され、APIC サーバ内のすべてのインフラストラクチャ要素が検出されます。この検出プロセスとインベントリ収集が完了するまでに数分かかります。

## APIC リソースの表示

Cisco UCS Director で APIC アカウントを作成すると、当該の APIC アカウントの関連リソースを表示できるようになります。

**ステップ 1** メニューバーで、[物理 (Physical) ] > [ネットワーク (Network) ] の順に選択します。

**ステップ 2** 左側のペインで [マルチ ドメイン マネージャ (Multi-Domain Managers) ] をクリックします。

**ステップ 3** [APIC アカウント (APIC Accounts) ] を展開して、APIC アカウントをクリックします。Cisco UCS Director に APIC アカウントのシステム概要とコントローラが表示されます。

**ステップ 4** サーバの特定のコンポーネントの詳細を確認するには、次のタブのいずれかをクリックします。

- [概要 (Summary) ] タブ : APIC コントローラのシステム概要と要約を表示します。
  - [ファブリック ノード (Fabric Nodes) ] タブ : ノード名、モデル、ベンダー、ロール、シリアル、ステータス付きノード ID などの詳細を含むファブリック ノードのリストを表示します。
- ファブリック ノードの詳細情報を表示するには、ファブリック ノードを選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [ファブリック シャーシ (Fabric Chassis) ] : ファブリック シャーシのファブリック名、ID、モデル、ベンダー、シリアル、リビジョン、および動作ステータスを表示します。
  - [ファン スロット (Fan Slots) ] : ファン スロットのファブリック名、スロット ID、タイプ、動作ステータス、および挿入されたカードの詳細を表示します。
  - [物理 インターフェイス (Physical Interfaces) ] : 速度、モード、CFG アクセス VLAN、CFG ネットワークタイプ VLAN、バンドル インデックス、操作 デュプレックス モード、操作 ポート 状態、および現在の動作状態の理由を含む インターフェイス 詳細を表示します。ポートの動作状態は次のいずれかになります : 不明、ダウン、リンク アップ、アップ。
  - [ファブリック ルーテッド VLAN インターフェイス (Fabric Routed Vlan Interfaces) ] : ファブリック ルーテッド VLAN インターフェイスのステータスと現在の動作ステータスの理由を表示します。
  - [ファブリック カプセル化 ルーテッド インターフェイス (Fabric Encapsulated Routed Interfaces) ] : ファブリック カプセル化 ルーテッド インターフェイスのリストを表示します。
  - [ファブリック ルーテッド ループバック インターフェイス (Fabric Routed Loopback Interfaces) ] : ファブリック ルーテッド ループバック インターフェイスのリストを表示します。
  - [ファブリック 管理 インターフェイス (Fabric Management Interfaces) ] : ファブリック 管理 インターフェイスのリストを表示します。
  - [トンネル インターフェイス (Tunnel Interfaces) ] : トンネル インターフェイスのインターフェイス、動作状態、現在の動作状態の理由、トンネル レイヤ、トンネル タイプ、およびタイプを表示します。
- 
- [システム (System) ] タブ : ノード名、インバンド管理 IP アドレス、アウトオブバンド管理 IP アドレス、インフラストラクチャ IP アドレス、ファブリック MAC アドレス、ID、ロール、およびシリアル番号を含むシステム詳細を表示します。
  - [ファブリック メンバーシップ (Fabric Memberships) ] タブ : ノード名、シリアル番号、ノード ID、モデル、ロール、IP アドレス、廃止ステータス、およびサポートされているモデルを含むファブリック メンバーシップ詳細を表示します。
  - [物理 ドメイン (Physical Domains) ] タブ : APIC サーバ内の物理ドメインを表示します。ドメインを追加するには、[追加 (Add) ] をクリックします。
  - [テナントの健全性 (Tenants Health) ] タブ : テナントの健全性スコアを表示します。  
テナントの健全性に関する詳細を表示するには、テナントを選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックします。次のタブが表示されます。
    - [EPG の健全性 (View Details) ] : エンドポイント グループ (EPG) の健全性スコアを表示します。
    - [アプリケーションの健全性 (Application Health) ] : アプリケーションの健全性スコアを表示します。
  - [ノードの健全性 (Nodes Health) ] タブ : ノードの健全性スコアを表示します。

ノードの健全性の詳細を表示するには、ノードを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [アクセス ポートの健全性 (Access Ports Health)] : アクセス ポートの健全性スコアを表示します。
  - [ファブリック ポートの健全性 (Fabric Ports Health)] : ファブリック ポートの健全性スコアを表示します。
  - [ラインカードの健全性 (Line Cards Health)] : ラインカードの健全性スコアを表示します。
- [アクセス エンティティ プロファイル (Access Entity Profile)] タブ : アクセス エンティティ プロファイルの名前と説明を表示します。

アクセス エンティティ プロファイルの詳細を表示するには、エンティティ プロファイルを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [ポリシー グループ (Policy Groups)] : エンティティ プロファイルのポリシー グループを表示します。
  - [インターフェイスに関連付けられたドメイン (Domain Associated To Interfaces)] : インターフェイスに関連付けられたドメインのリストを表示します。
- [リンク レベル ポリシー (Link Level Policy)] タブ : リンク レベル ポリシーの名前、自動ネゴシエーション、速度、リンク デバウンス間隔、および説明を表示します。
- [VLAN プール (VLAN Pool)] タブ : APIC サーバに追加された VLAN プールを表示します。VLAN プールを追加するには、[追加 (Add)] をクリックします。

VLAN プールの詳細を表示するには、VLAN プールを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [VLAN プールの範囲 (VLAN Pool Range)] : VLAN プール名、割り当てのモード、およびプールの範囲を表示します。VLAN プールに VLAN の範囲を追加するには、[追加 (Add)] をクリックします。
- [CDP インターフェイス ポリシー (CDP Interface Policy)] タブ : Cisco Discovery Protocol (CDP) インターフェイス ポリシーの名前と説明、管理ステータスを表示します。
- [LLDP インターフェイス ポリシー (LLDP Interface Policy)] タブ : Link Layer Discovery Protocol (LLDP) インターフェイス ポリシーの名前と説明、および受信ステータスと送信ステータスを表示します。
- [リーフ ポリシー グループ (Leaf Policy Group)] タブ : リーフ ポリシー グループの名前と説明を表示します。
- [テナント (Tenant(s))] タブ : APIC サーバ内のテナントを表示します。テナントを追加するには、[追加 (Add)] をクリックします。

テナントの詳細を表示するには、テナントを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [概要 (Summary)] : テナントの概要を表示します。
- [アプリケーションプロファイル (Application Profile)] : テナントアプリケーションプロファイルの名前、テナント、説明、およびQoSクラスを表示します。テナントアプリケーションプロファイルを追加するには、[追加 (Add)] をクリックします。アプリケーションプロファイルを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、アプリケーションプロファイルの EPG が表示されます。

EPG を選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックして、指定した契約、使用済み契約、レイヤ 4 からレイヤ 7 の EPG パラメータ、使用済み契約インターフェイス、スタティック ノード、ドメイン、スタティック パス、EPG のサブネットを表示します。[使用済み契約インターフェイス (Consumed Contract Interface)] タブで、[追加 (Add)] をクリックし、使用済み契約インターフェイスを EPG に追加します。
- [導入済みサービスグラフ (Deployed Service Graph)] : テナントに導入されるサービスグラフのリストが表示されます。サービスグラフを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、レイヤ 4 ~ レイヤ 7 の導入済みサービスグラフパラメータが表示されます。
- [フィルタ (Filters)] : フィルタのテナント、名前、および説明を表示します。テナントフィルタルールを表示するには、フィルタを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- [外部ブリッジネットワーク (External Bridge Network)] : 外部ブリッジネットワークのテナント、名前、および説明を表示します。ネットワークを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、次のタブが表示されます。
  - [外部ネットワーク (External Network)] : 外部ネットワークを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、指定されたコントラクトと消費されたコントラクトの詳細が表示されます。
  - [ノードプロファイル (Node Profile)] : ノードプロファイルを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、インターフェイスプロファイルの詳細が表示されます。
- [外部ルーテッドネットワーク (External Routed Networks)] : 外部ルーテッドネットワークのテナント、名前、および説明を表示します。ネットワークを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、次のタブが表示されます。
  - [ルートプロファイル (Route Profile)] : ルートプロファイルを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、コンテキストの詳細が表示されます。
  - [論理ノードプロファイル (Logical Node Profile)] : 論理ノードプロファイルを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。
    - [論理ノード (Logical Nodes)] タブ : 論理ノードを表示します。[追加 (Add)] をクリックして、外部ルーテッドネットワークの論理ノードプロファイルに論理ノードを追加します。論理ノードを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、論理ノードへの静的ルートが表示されます。

- [論理インターフェイスプロファイル (Logical Interface Profile) ] タブ：論理インターフェイスプロファイルを選択し、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、論理インターフェイスと論理 OSPF インターフェイスが表示されます。[論理OSPFインターフェイス (Logical OSPF Interface) ] タブで[追加 (Add) ] をクリックして、OSPF プロファイルデータでインターフェイス プロファイルを作成します。
- [BGP ピア接続 (BGP Peer Connectivity) ] タブ：論理ノードプロファイルの BGP ピア接続を表示します。[追加 (Add) ] をクリックして、ピア接続をノードプロファイルに追加します。

◦ [外部ネットワーク (External Network) ]：外部ネットワークを選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、サブネット、指定されたコントラクト、および消費されたコントラクトの詳細が表示されます。[タグの追加 (Add Tags) ] オプションを使用して、外部ネットワークおよび消費されたコントラクトにタグを付けることができます。このタグは、アプリケーションコンテナの導入で使用するネットワークおよびコントラクトを識別するのに使用されます。

- [ブリッジドメイン (Bridge Domains) ]：テナント、名前、説明、セグメント ID、ユニキャストトラフィック、ARP フラッドイング、マルチキャスト IP アドレス、カスタマー MAC アドレス、ユニキャスト ルート、およびレイヤ 2 の不明なユニキャスト値を表示します。

ブリッジドメインの詳細を表示するには、ブリッジドメインを選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [DHCP リレー ラベル (DHCP Relay Label) ]：DHCP リレーのテナント、名前、説明、および範囲を表示します。
- [サブネット (Subnet) ]：テナントのテナント、ブリッジドメイン、説明、サブネット制御、およびゲートウェイアドレスを表示します。

- [プライベート ネットワーク (Private Networks) ]：プライベート ネットワークのテナント名、名前、説明、ポリシー制御、およびセグメントを表示します。プライベート ネットワークを追加するには、[追加 (Add) ] をクリックします。

- [BGP タイマー (BGP Timers) ]：ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) タイマーのテナント、名前、グレースフル リスタート制御、ホールド間隔、キープアライブ間隔、および期限切れ間隔を表示します。

- [コントラクト (Contracts) ]：コントラクトのテナント、名前、説明、タイプ、QoS、および範囲を表示します。

コントラクトの詳細を表示するには、コントラクトを選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [コントラクト対象 (Contract Subject) ]：コントラクト対象を選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、フィルタ チェーン、コンシューマからプロバイダー方向のフィルタ チェーン、プロバイダーからコンシューマ方向のフィルタ チェーン、指定されたラベル、および消費されたラベルが表示されます。各タブには、フィルタ、インターム

フィルタ、アウトタームフィルタ、指定ラベル、および消費ラベルをコントラクト対象に追加するための [追加 (Add) ] オプションがあります。

- [エクスポートされたテナント (Exported Tenants) ] : エクスポートされたテナントのコントラクトを表示します。
- [禁止コントラクト (Taboo Contracts) ] : 禁止コントラクトのテナント、名前、説明、および範囲を表示します。
- [リレー ポリシー (Relay Policy) ] : リレー ポリシーのリストを表示します。
- [オプション ポリシー (Option Policy) ] : オプション ポリシーのリストを表示します。
- [エンド ポイント保持 (End Point Retention) ] : テナントのテナント、名前、説明、ホールド間隔、バウンス トリガー、バウンス エントリ経過期間、ローカル エンドポイント経過期間、リモート エンドポイント経過期間、および移動頻度を表示します。
- [OSPF インターフェイス (OSPF Interface) ] : Open Shortest Path First (OSPF) インターフェイスのテナント、名前、説明、ネットワークタイプ、プライオリティ、インターフェイスのコスト、インターフェイス制御、hello 間隔、dead 間隔、再送間隔、および送信遅延を表示します。[作成 (Create) ] をクリックして、OSPF インターフェイス ポリシーを作成します。
- [OSPF タイマー (OSPF Timers) ] : OSPF タイマーの詳細を表示します。
- [IGMP スヌープ (IGMP Snoop) ] : IGMP スヌープの詳細を表示します。
- [カスタム QOS (Custom QOS) ] : カスタム QoS の詳細を表示します。
- [アクションルールプロファイル (Action Rule Profile) ] : テナントのアクションルールプロファイルを表示します。[作成 (Create) ] をクリックして、アクションルールプロファイルを作成します。[アクションルールプロファイルの作成 (Create Action Rule Profile) ] ダイアログボックスで、アクションルールプロファイルの名前と説明を入力します。ルートタグに基づいてアクションルールを設定する場合は、[ルートタグに基づいてルールを設定 (Set Rule Based On Route Tag) ] チェックボックスをオンにします。
- [L4-L7 サービス グラフ (L4-L7 Service Graph) ] : レイヤ 4 ~ 7 のサービス グラフの詳細を表示します。サービス グラフを選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、次のタブが表示されます。
  - [コンシューマ EPG (Consumer EPG) ] : テナント内でコンシューマとしてラベル付けされている EPG のリストを表示します。EPG がコントラクトを消費すると、消費する EPG のエンドポイントが、そのコントラクトを提供している EPG の任意のエンドポイントとの通信を開始する場合があります。
  - [プロバイダー EPG (Provider EPG) ] : テナント内でプロバイダーとしてラベル付けされている EPG のリストを表示します。EPG がコントラクトを提供すると、通信が提供されたコントラクトに準拠している限り、その EPG との通信は他の EPG から開始できます。
  - [ノード (Nodes) ] : テナントのノードのリストを表示します。ノードを選択し、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、そのノードのノード機能とコネクタが表示され

ます。ノード機能を選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、レイヤ 4 ~ レイヤ 7 の機能ノードパラメータが表示されます。

- [接続 (Connections)] : テナント内の接続のリストを表示します。接続を選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、テナント内の接続端末が表示されます。
- [機能プロファイルグループ (Function Profile Group)] : テナントの機能プロファイルグループを表示します。機能プロファイルグループを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、グループの機能プロファイルが表示されます。機能プロファイルを追加するには、[追加 (Add)] をクリックします。機能プロファイルの詳細を表示するには、機能プロファイルを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。
  - [機能プロファイルパラメータ (Function Profile Parameter)] : 機能プロファイルパラメータを表示します。[機能プロファイルパラメータ (Function Profile Parameter)] タブで、ACL やインターフェイスを追加したり、ブリッジグループインターフェイスを機能プロファイルに追加したり、ネットワークオブジェクトを機能プロファイルに追加したりできます。機能プロファイルパラメータを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、機能プロファイルパラメータの設定と機能プロファイルパラメータのレベル 1 フォルダが表示されます。
  - [L4-L7 機能プロファイルパラメータ (L4-L7 Function Profile Parameters)] : レイヤ 4 ~ レイヤ 7 の機能プロファイルパラメータのリストを表示します。
  - [機能プロファイル関数パラメータ (Function Profile Function Parameter)] : 機能プロファイル関数パラメータのリストを表示します。[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、機能プロファイル関数パラメータ Rel の詳細が表示されます。
- [デバイスクラスタ (Device Clusters)] : デバイスクラスタの詳細を表示します。デバイスクラスタの詳細を表示するには、デバイスクラスタを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。
  - [デバイスクラスタの状態 (Device Cluster State)] : デバイスのクラスタ名、デバイス状態、および設定されたステータスを表示します。
  - [具象デバイス (Concrete Device)] : 具象デバイスのリストを表示します。具象デバイスを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、具象インターフェイスへの仮想ネットワークインターフェイスカード (vNIC) と具象インターフェイスへのパスが表示されます。
  - [論理インターフェイス (Logical Interface)] : デバイスクラスタ内の論理インターフェイスのリストを表示します。論理インターフェイスを選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、論理インターフェイスの詳細が表示されます。
- [導入済みデバイスクラスタ (Deployed Device Cluster)] : テナントに導入されたデバイスクラスタを表示します。

- [論理デバイス コンテキスト (Logical Device Context) ]: 論理デバイス コンテキストの詳細を表示します。論理デバイス コンテキストを選択し、[詳細の表示 (View Details) ]をクリックすると、論理インターフェイス コンテキストが表示されます。
- [L3 ドメイン (L3 Domain) ] タブ: APIC アカウント内のレイヤ 3 ドメインのリストを表示します。レイヤ 3 ドメインを作成するには、[作成 (Create) ] をクリックします。

[L3 ドメインの作成 (Create L3 Domain) ] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

  - [L3 ドメイン (L3 Domain) ] フィールド: レイヤ 3 ドメインの名前。
  - [関連付けられた接続可能エンティティプロファイル (Associated Attachable Entity Profile) ] フィールド: [選択 (Select) ] をクリックし、レイヤ 3 ドメインに関連付ける、接続可能なアクセス エントリ プロファイルを選択します。
  - [VLAN プール (VLAN Pool) ] フィールド: [選択 (Select) ] をクリックし、VLAN プールを選択します。
- [L2 ドメイン (L2 Domain) ] タブ: APIC アカウント内のレイヤ 2 ドメインのリストを表示します。レイヤ 2 ドメインを作成するには、[作成 (Create) ] をクリックします。

[L2 ドメインの作成 (Create L2 Domain) ] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

  - [L2 ドメイン (L2 Domain) ] フィールド: レイヤ 2 ドメインの名前。
  - [関連付けられた接続可能エンティティプロファイル (Associated Attachable Entity Profile) ] フィールド: [選択 (Select) ] をクリックし、レイヤ 2 ドメインに関連付ける、接続可能なアクセス エントリ プロファイルを選択します。
  - [VLAN プール (VLAN Pool) ] フィールド: [選択 (Select) ] をクリックし、VLAN プールを選択します。
- [VM ネットワーキング (VM Networking) ] タブ: 仮想マシン (VM) ネットワークとベンダーの詳細を表示します。

VM ネットワークの詳細を表示するには、VM を選択して、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックします。次のタブが表示されます。

  - [VMware ドメイン (VMware Domains) ]: VMware ドメインとベンダーの詳細のリストを表示します。VMware ドメインを選択し、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、VMware ドメインコントローラ、vCenter クレデンシャル、および vCenter/vShield が表示されます。VMware ドメインコントローラを選択し、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、分散型仮想スイッチ (DVS) 、ハイパーバイザ、および仮想マシンが表示されます。DVS を選択し、[詳細の表示 (View Details) ] をクリックすると、DVS ポート グループが表示されます。
- [L4-L7 サービス デバイス タイプ (L4-L7 Service Device Types) ] タブ: モデル、ベンダー、バージョン、および機能を含むレイヤ 4 ~ 7 のサービス デバイス タイプを表示します。

レイヤ4～7のサービス デバイス タイプの詳細を表示するには、レイヤ4～7のサービス デバイス タイプを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。次のタブが表示されます。

- [L4-L7 サービス デバイス プロパティ (L4-L7 Service Device Properties)] : レイヤ4～レイヤ7のサービスデバイスタイプのベンダー、パッケージ名、パッケージバージョン、およびログインレベルを表示します。
  - [L4-L7 サービス デバイス インターフェイス ラベル (L4-L7 Service Device Interface Labels)] : インターフェイス ラベルのリストを表示します。
  - [L4-L7 サービス機能 (L4-L7 Service Functions)] : サービス機能のリストを表示します。サービス機能を選択し、[詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、レイヤ4～レイヤ7のサービス機能コネクタの詳細が表示されます。
  - [ファブリック ノード トポロジ (Fabric Nodes Topology)] タブ : ファブリック ノードのトポロジの詳細を表示します。
  - [L2 ネイバー (L2 Neighbors)] タブ : プロトコル、ファブリック名、デバイスID、機能、ポートID、ローカル インターフェイス、ホールド時間、およびプラットフォームを含むレイヤ2 ネイバーの詳細を表示します。
  - [導入済みサービス グラフ (Deployed Service Graph)] タブ : APIC アカウントのテナント、コントラクト、状態、サービス グラフ、コンテキスト名、ノード機能、および説明を表示します。
  - [EPG とコントラクトの関連付け (EPG to Contract Association)] タブ : EPG とコントラクトの関連の詳細を表示します。
  - [アクセス ポート ポリシー グループ (Access Port Policy Groups)] タブ : APIC サーバ内のアカウントのアクセス ポート ポリシー グループ名、リンク レベル ポリシー、Cisco Discovery Protocol (CDP) ポリシー、Link Aggregation Control Protocol (LACP) ポリシー、Link Layer Discovery Protocol (LLDP)、リンク アグリゲーション タイプ、および接続可能エンティティ プロファイルを表示します。
  - [ファブリック インターフェイス プロファイル (Fabric Interface Profiles)] タブ : APIC サーバのファブリック インターフェイス プロファイルを表示します。
  - [ファブリック設定済みスイッチ インターフェイス (Fabric Configured Switch Interfaces)] タブ : APIC サーバのファブリック設定済みスイッチ インターフェイスを表示します。
  - [ファブリック スイッチ プロファイル (Fabric Switch Profiles)] タブ : APIC サーバのファブリック スイッチ プロファイルを表示します。
-

## ポッドへの APIC アカウントの割り当て

ユーザ インターフェイス (UI) の [統合 (Converged)] メニューで、Cisco UCS Director にデータセンター向けのデバイスの統合スタックが表示されます。統合 UI に APIC アカウントを表示するには、ポッドに APIC アカウントを割り当てます。

- ステップ 1 メニューバーで、[物理 (Physical)] > [ネットワーク (Network)] の順に選択します。
- ステップ 2 左側のペインで [マルチ ドメイン マネージャ (Multi-Domain Managers)] をクリックします。
- ステップ 3 [APIC アカウント (APIC Accounts)] を展開して、APIC アカウントをクリックします。Cisco UCS Director に APIC アカウントのシステム概要とコントローラが表示されます。
- ステップ 4 右側のペインで、ポッドに割り当てる APIC アカウントを選択します。
- ステップ 5 [ポッドへの割り当て (Assign to Pod)] をクリックします。  
[ポッドへの割り当て (Assign to Pod)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 6 [ポッドの選択 (Select Pod)] ドロップダウンリストから、APIC アカウントを割り当てるポッドを選択します。
- ステップ 7 [送信 (Submit)] をクリックします。  
APIC アカウントが統合 UI に表示されます。

## APIC フェールオーバーの処理

APIC コントローラは、APIC クラスタに導入されます。高可用性を確保するために、クラスタごとに 3 つ以上のコントローラを導入することを推奨します。Cisco UCS Director に APIC アカウントを作成する場合は、APIC クラスタ内のいずれかの APIC コントローラの IP アドレスを指定します。Cisco UCS Director は APIC クラスタ内の別の APIC コントローラとそれぞれの IP アドレスを検出します。

APIC デバイスの管理に使用されていたコントローラの IP アドレスがダウンしたり 45 秒間到達不能な場合、Cisco UCS Director は到達可能なコントローラの IP アドレスのいずれかを使用して APIC デバイスとデータをやり取りしようとします。

複数の ACI ファブリックがあり、それぞれのファブリックに複数のコントローラが付属している場合、ACI ファブリックのコントローラの内いずれかが APIC デバイスを管理するために使用されます。コントローラがダウンしたり 45 秒間到達不能な場合、Cisco UCS Director は ACI ファブリック内の次に到達可能なコントローラを使用します。

## 共有レイヤ 3 Outside の設定

共有レイヤ 3 Outside (L3Out) 機能を利用することにより、1 つの L3Out で多数のテナントに対して外部ネットワーク接続を提供できるようになります。

アプリケーション コンテナの導入時に共有 L3Out 機能を使用するには、テナント オンボーディング時およびアプリケーション プロファイルの作成時に次の前提条件が満たされていることを確認する必要があります。

- 1 共通テナントで L3Out を設定します。たとえば、Common という名前のテナントで、外部ネットワーク接続に使用する外部ネットワークおよびコントラクトを設定します。
- 2 タグ値 (たとえば sample-tag) を使用して、Common テナントの外部ネットワークにタグを付けます。詳細については、[APIC リソースの表示](#)、(4 ページ) の [テナント (Tenants) ] > [外部ルーテッドネットワーク (External Routed Network) ] > [外部ネットワーク (External Network) ] タブの説明を参照してください。



(注) 外部ネットワークへのタグ付けを行う際に必要なタグを [タグ (Tag) ] ドロップダウンリストから取得するには、タグの作成時に、APIC 外部ネットワークをタグ付け可能なエンティティとしてマップする必要があります。タグ付け可能なエンティティをマップするには、[タグの作成 (Create Tag) ] ウィンドウの [適用性ルール (Applicability Rules) ] 画面で、[管理 (Administration) ] カテゴリにある [Apic 外部ネットワーク (Apic External Network) ] チェックボックスをオンにする必要があります。

- 3 外部ネットワーク内のコントラクトにも、外部ネットワークのタグ付けに使用されているものと同じ値 (たとえば sample-tag) のタグを付与します。詳細については、[APIC リソースの表示](#)、(4 ページ) の [テナント (Tenants) ] > [外部ルーテッドネットワーク (External Routed Network) ] > [外部ネットワーク (External Network) ] タブの説明を参照してください。



(注) 外部ネットワークへのタグ付けを行う際に必要なタグを [タグ (Tag) ] ドロップダウンリストから取得するには、タグの作成時に、APIC が使用するコントラクトを外部ネットワークへタグ付け可能なエンティティとしてマップする必要があります。タグ付け可能なエンティティをマップするには、[タグの作成 (Create Tag) ] ウィンドウの [適用性ルール (Applicability Rules) ] 画面で、[管理 (Administration) ] カテゴリにある [Apic が使用する外部ネットワークへのコントラクト (Apic Consumed Contracts To External Networks) ] チェックボックスをオンにする必要があります。

- 4 テナント オンボーディング後に、[テナントリソースの割り当て (Tenant Resource Allocation) ] タスクを使用して、コンテナのテナント vPOD 内のタグ付けされた外部ネットワークおよびコントラクト情報を更新します。

テナント オンボーディング時に IP アドレスのオーバーラップが有効になっている場合は、[テナントリソースの割り当て (Tenant Resource Allocation) ] タスクで、[一意の IP サブネットプールポリシー ID (Unique IP Subnet Pool Policy ID) ] の ID の [ユーザ入力にマッピング (Map to

User Input) ]をオンにして、一意のサブセットプールを設定します。ネットワーク層は、この一意の IP サブネットプールから選択された、一意の IP アドレスを使用して、共有 L3Out に接続します。テナント オンボーディング時に IP アドレスのオーバーラップが有効になっていない場合は、ネットワーク層に IP アドレスを割り当てるためにこの IP サブネットプールが使用されます。

- 5 アプリケーションプロファイルの作成時に、外部ネットワークおよびコントラクトと同じタグを選択して、Common テナントの L3Out 設定を使用します。外部ネットワークおよびコントラクト用のタグ選択方法の詳細については、『[Cisco UCS Director Application Container Guide](#)』の「Adding an Application Profile」の項を参照してください。
- 6 アプリケーション コンテナのプロビジョニングで、このアプリケーション プロファイルを使用します。

Cisco UCS Director はタグに基づいて外部ネットワークおよびコントラクトを識別し、コンテナ内のテナントの外部ネットワーク接続にこれらのデータを使用します。

